

4年間の支出 (図書、備品、慶弔、飲食除く)
3,354,886円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	780,927円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	659,245円
会場費	24,100円
通信費(郵送、携帯電話、折込)	1,890,614円
支出計 11/3/1~15/3/1	3,354,886円

市政を考える 月刊武松

発行日
15/3/2

第150号
70250部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

2019年度までに270億円!?

続く大型投資！ 芸文センターの遅れて投資が集中！

■お城通り地区再開発事業

駐車場施設ゾーン

- ・立体駐車場、市民活動交流センター、会議室機能
- ・2015/11オープン予定 13.6億円
- ・事業主体は小田原市事業協会

広域交流施設ゾーン(複合集客施設)

- ・低層階：飲食物販等の商業業務機能
- ・中層階：公共公益機能(図書館、子育て支援、コンベンション)および広場
- ・上層階：都市型ホテル
- ・市の負担見込額は約8.6億円
- ・2015年度中に事業者選定。2018/3Eの完成

複合集客施設

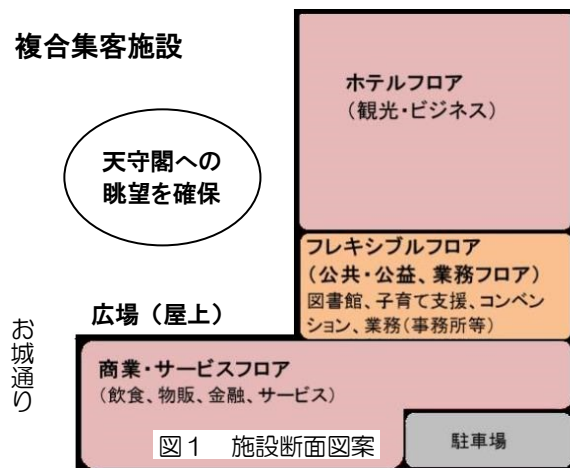


図2 広場(屋上)から天守閣方向を望む

■芸術文化創造センター(市民ホール)

- ・大ホール(1100席)、小ホール、展示室等の機能
- ・建設費約74億円を想定(基本設計時は65億円)
- ・2017年秋オープン予定
- ・開館から5年程度は直営で運営し、文化財団の設立等も視野に入れ、再度検討する。

■ごみ処理広域化(1市3町)

- ・当面小田原市と下郡3町の2系統で処理することとなり、小田原市は炉の改良工事を行う。
- ・整備炉1~3号炉 ボイラ化&省エネ化
- ・事業費見込 80億円程度
- ・2017年度から1炉毎改良し、2020/3E完了

■小田原市斎場

- ・炉数：火葬炉 9炉(式場、動物炉は非設置)
- ・駐車場：72台程度(バス用含む)
- ・整備費見込：55~58億円
- ・維持管理経費は年1.5億円程
- ・2018/4供用開始予定

■生涯学習センターけやき耐震改修工事

耐震診断の結果、耐震補強が必要。今後の設計等によるが、6.5億円工事費を見込む。

■市役所本庁舎耐震改修工事

利用する方の安全を確保し、災害時の防災拠点としての機能を保持するため、市庁舎の耐震改修工事を行っている。

- ・免震工法による耐震改修工事：約20億円
- ・工期 ~2016/2/15

■小田原城天守閣耐震改修工事

耐震改修工事及び展示リニューアルのため、休館する。

- ・補強及びスリット追加による耐震改修工事：約10億円
- ・工期 2015/7~2016/4E

2019年までに、約270億円もの投資が続く。

子供たちのために

小田原市も人口減少が顕著となり、2011年以降、年間平均約800人の減少となっています。

人口減少で大きな課題となるのは、**公共施設の維持**です。特に下水道は老朽管の敷設替えや借金返済も含め経費が掛かる一方、支払う人は減るわけで、今後も料金値上げが必要となってきます。

改選後の課題は、市民ホールである**芸文センターの着工**です。各地で入札不調となっており、その場合、設計見直しや工事費の増額が必要となります。管理運営費もこれまでの2倍以上が想定され、まさに議会のチェック機能が問われています。これらは結果的に子供を持つ親の世代や子供の世代が、将来にわたり負担していくものです。我々世代が意識を高めていかなければ、更に大きな負担となります。

月刊武松150号！

私は、これまで4期16年間、月刊武松の発行と一般質問など積極的に活動してきました。

月刊武松は、お陰様で現在150号まで発行できました。駅頭配布、新聞折込み（川東南部）とバイク配布により、6年間で延べ197万部発行配布しました。

ホームページは、毎日更新の日刊武松、月刊武松のバックナンバーや議会報告会の案内等を掲載しています。

また2011年以降facebookやtwitterでも、小田原の魅力や防災情報等を積極的に発信しています。

さらに、誰でも参加できる**個人議会報告会**を、懸案事業やまちづくりをテーマに107回開催しました。

これからも様々な行政データを「見える化」し、月刊武松の発行により、皆さんと行政情報を共有し、問題点を明確にします。さらに、HPやSNSを駆使し、小田原の魅力を内外に発信していきます。

E-mail : ttakemat@hk.airnet.ne.jp

HP : <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

twitter : @ttakemat

facebook :

<https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

武松政策研究会からのお知らせ

3月の議会報告会は都合により中止します。

HPは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。
eメールでも送付していますので連絡下さい。

寄付は、
ジャパンネットバンク 本店
普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店
普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠

ずっと安心して住める街に

- ・学校教育、施設の充実
- ・交通対策、交通安全対策
- ・防災（耐震、逸水、延焼対策）
- ・社会基盤の計画的整備
（焼却場・火葬場・上下水道）

財政は大変厳しい状態です。1日でも停止したら、住民生活に多大な影響がある社会基盤の計画的整備から優先的に進めます。

行政改革の推進

- ・職員数の適正化、業務の見直し
- ・助成金や補助金の適正化

職員数適正化には、業務の抜本的な見直しを行わなければなりません。本来、市が行うべき業務を精査し、自立を促すものと、助成金や補助金でしっかりと支えるものを分けていきます。

行政情報の見える化

- ・月刊武松の発行、配布
- ・SNS等駆使し、行政情報を公開
- ・小田原の魅力の発信

行政も情報を出しているのですが、上手く届いていないのが現状です。グラフ化したり、分かり易い言葉に変えたりして情報が見える化します。

私は、組織や団体に属さず支援も受けていません。「しがらみの無い、確かな目」で子供たちのために将来を見据えた政治判断をしていきます。

武松 忠のプロフィール

- ・1965年8月9日 国府津生まれ（小18幡在住）
- ・小田原市立国府津小学校卒
- ・小田原市立国府津中学校卒
- ・神奈川県立西湘高等学校卒
- ・東京職業訓練短期大学校電気科卒（厚生労働省所管）
【現 職業能力開発総合大学校】
- ・1986年4月～1999年6月 日本真空技術(株)勤務
ロボット・半導体製造装置・ディスプレイ製造装置等の開発に従事
- ・NPO法人移送ボランティア車窓の会監事
- ・家族 5人（妻、1男2女）



主な役職

- ・1999年5月から小田原市議会議員（4期）
- ・第60代市議会副議長（2008年度）
- ・小田原市監査委員（2011年度）
- ・第64代市議会副議長（2012年度）